

無限にひろがる音とかたち 奇才が生んだ楽器「ダクソフォン」日本初の展覧会！

横浜市民ギャラリーあざみ野は、「Listen to the Daxophone (リッスン・トゥ・ザ・ダクソフォン)」と題して、ドイツの奇才ハンス・ライヒェルと日本の即興音楽の第一人者・内橋和久がつくりだす新しい音の世界を紹介する展覧会を開催します。

本展では、ライヒェルが創作した、変幻自在に音を奏でられる音もかたちもユニークな楽器「ダクソフォン」を展示します。また、内橋が演奏したダクソフォンの音源を17チャンネルのスピーカーで再生するなど、見て聴いて体感できる空間が出現します。



1. 展覧会概要

展覧会名	あざみ野コンテンポラリーvol.5 ハンス・ライヒェル×内橋和久 Listen to the Daxophone (リッスン・トゥ・ザ・ダクソフォン)
会 期	平成 26 年 5 月 31 日(土) ~ 6 月 15 日(日) 16 日間
開場時間	10:00~18:00
休 館 日	会期中無休
料 金	入場無料
会 場	横浜市民ギャラリーあざみ野 展示室 1
出品作家	ハンス・ライヒェル、内橋和久
主 催	横浜市民ギャラリーあざみ野 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
音響映像システム開発	伊藤隆之 (YCAM InterLab)
PATH 音響システム共同開発	YCAM InterLab
協 力	ローランド株式会社
後 援	横浜市文化観光局、神奈川新聞社、t v k、ラジオ日本、FM ヨコハマ、 横浜市ケーブルテレビ協議会

2. 「ダクソフォン」とは

コンタクトマイクが内蔵された木製の「サウンドボックス」に、様々なかたちの「タング」と呼ばれる木片をとりつける楽器。ギターネックを改造した黒板消しのようなかたちの「ダックス」を左手に、右手にコントラバスの弓や鉛筆、小型ファンなどをもち、弾いたり叩いたりして演奏する。多彩な音のバリエーションがあり、パーカッションのようにリズムを刻んだり、弦楽器のようにメロディアスに歌ったり、生き物の鳴き声のようにユーモラスな音を奏でたりすることができる。



3. 出品作家



ハンス・ライヒェル Hans Reichel (写真左)

1949年ドイツ・ハーゲン生まれ。音楽家、デザイナー。演奏する楽器は全て自作。独特のユーモアと実直さにより、デザインでも音楽でも唯一無二の世界を構築した。2011年急逝。本展ではライヒェルの創作したギター2本と、ダクソフォンとそれに取り付けるタング約320本を日本で初めて展示する。

内橋和久 Kazuhisa Uchihashi (写真右)

1959年大阪生まれ。ギター、ダクソフォンの演奏、作曲、編曲活動を行う。エフェクツを駆使した独創的な演奏に定評があり、ジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションも多い。17チャンネルのスピーカーを使い、音が会場を駆けめぐる新作サウンド・インスタレーション《ein Wald von Daxophoneーダクソフォンの森》を本展のために発表する。

4. 関連イベント

内橋和久ソロライブ「Listen to the Daxophone #1」

5月31日(土) 17:00~17:30

1階エントランスロビー

出演：内橋和久

※申込不要、観覧無料

スペシャルライブ「Listen to the Daxophone #2」

6月8日(日) 15:00開演(14:30開場)

出演：内橋和久 スペシャルゲスト：細野晴臣、UA

※有料(チケットは売切)

ワークショップ

「ダクソフォンを弾いてみよう」

6月14日(土) 14:00~16:00

講師：内橋和久

対象・定員：小学5年生~大人15名

参加費：1,500円(要事前申込)

その他のイベント、詳細についてはホームページ、チラシでご確認ください。

<http://artazamino.jp/>

※つきましては記者の皆様には、展覧会や関連イベントの取材、情報掲載をお願いしたく、ご案内申し上げます。取材の際は、事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問合せ先

横浜市民ギャラリーあざみ野 館長 西村 雅典 Tel 045- 910-5656

横浜市民ギャラリーあざみ野 担当：河上、佐藤 Tel 045- 910-5656